

アンサンブル大宮様とみなみ福寿園様が熱く語る 音楽健康福祉士活動の今と未来。

音楽健康福祉士資格制度が、2016年に始まって以来多くの音福士を育成し、心音レインボートレーニングの実践をリードし続けている両施設様に音福士活動の現状と未来について熱く語っていただきました。

(本内容は、弊会が昨年11月に両施設のご担当者にご参加頂いた座談会の内容から一部抜粋させていただいたものです。)

【座談会ご参加者】

メディカル・ケア・サービス株式会社 第2統括部 特定施設事業部長代理 本橋 悟様
 介護付有料老人ホーム アンサンブル大宮 音楽健康福祉士リーダー 大西 竜也様
 みなみ福寿園デイサービスセンター 音楽健康福祉士 麻生 千恵子様
 ケアハウスみなみ 音楽健康福祉士 小澤 京子様

『音楽健康福祉士活動の“今”』

●みなみ福寿園

(麻生) みなみ福寿園のデイサービスは、営業日が月曜から土曜の週6日間で毎日午後2時から30分間音楽体操を実施。2週間ごとにプログラムを変更していますが「愛の周波数」*を一番頭に入れて「パタカラ体操」とか「色々JOY体操」*とか体を動かすエクササイズなどを入れて最後に「愛の周波数」*を入れて終了。毎日ご利用者様にしっかり体を動かしていただいています。

(小澤) ケアハウスみなみでは月曜と金曜の2時半から3時まで体操をしています。

2時半からですが人気があり、2時を過ぎると皆さん集まるのでカラオケの音楽を流したり、気持ちが上がるように皆で歌ったりします。体操は、最初は椅子で楽しむエクササイズを2つ位、「パタカラ」を1曲、「カラオケ元気体操」*を2つ位してとても元気な「JOYリズム体操」*をやって最後「ラジオ体操第一」*でしめるような感じ、全体的に沢山動いて“ああ今日は動いたね。楽しかったね”という感じで終わります。



ケアハウスみなみ 小澤様



みなみ福寿園デイサービス

参加されているようですが、男性のご入居者様にも参加していただける特別な声掛けや裏技とかがあったりするんですか。

(小澤) お部屋を出たがらない方には朝くらいから“今日はやるよ!”と個別に声掛けを積極的にします。そうすると“しかたねえな”という感じで参加してくれて“本当ありがとうございます”って言ってくれます。

(注)文中の※印が付いた名称は、株式会社エクシングの介護施設向け音楽療養コンテンツ「健康王国」に入っているコンテンツの名称です。

●アンサンブル大宮

(大西) 当施設は、6階建ての7ユニットで1コマ30分で提供。開始は午前9時半、終了は午後5時半。多い時は週5回、少なくとも週3回以上サービスを提供しています。音福士が複数いるので担当割り当てを決めることで提供回数を増やしています。また業務日報で単位



みなみ福寿園デイサービスセンター 麻生様

(サービス内容)

“心音レインボートレーニング”を「健康王国」と題し、エクシング社の「健康王国 DX タブレット」を音福士1人1台と

「JOYSOUND FESTA2」を使い分けています。個別音楽療法も実施。2.4時間体制で看護師の関わりが必要な方を中心にお部屋を訪問して、主に緩和ケアや脳への刺激を目的に音楽療法を提供しています。合唱レクリエーションは、ご入居者様からの“やりたい!”という声から始まった企画で、グランドピアノを使って生演奏を楽しみながら合唱していただく、生音ならではの良さがあります。カラオケは定番のレクリエーションですが、声楽が専門の音福士が歌唱したり、ご入居者様と一緒にデュエットしたり、他とは一味違った魅力があります。

(活動の効果)

個別音楽療法を開始するとご本人様から楽器演奏やピアノを弾きたいというお申し出があり、自然と離床時間が増え、夜間良眠できるようになったり、失語症の方に歌唱のアプローチをした結果、歌唱することができ、現在では会話をすることも可能になりました。認知症症状により不穏になり暴言をしようという方にアロマ療法を楽しんでいただいた結果、抗精神薬無しで30分ほどで落ち着かれました。ご入居中に認知症へ移行してしまう方が殆どいなかったり、パタカラ体操などの歌を歌うことで食事による誤嚥性肺炎になる方も殆どいないという感覚があります。介護職、ケアマネージャーなど職員の方へのアンケートの結果、施設での生活は刺激が少なくなりがちだが、音福士がいることでご入居者様の活動



アンサンブル大宮 大西様

活動紹介

1日の流れ 勤務時間 9:00~18:00	
9:00	プログラム作り
9:30	健康王国①(集団音楽療法含む)
10:00	健康王国②
10:30	健康王国③
11:00	健康王国④
11:30	記録
12:00	休憩
13:00	プログラム作り
13:30	個別音楽療法①
14:00	個別音楽療法②
14:30	記録
15:00	カラオケ①
15:30	記録
16:00	カラオケ②
16:30	カラオケ③
17:00	カラオケ④
17:30	記録
18:00	終了

アンサンブル大宮音福士1日の流れ

性維持・向上に繋がり大変助かっている。今まで退屈な時間が多かったが、音楽や体操の時間にご入居者様の笑顔が増えた。朝の体操で雰囲気良くなり、皆さん明るい表情になられますという意見をいただきました。

(麻生) 音福士の方は、専属で業務をされるんですか。

(大西) 我々は、月～金の枠で9時から18時の間全て音福士の業務で埋めています。介護士業務は、基本的にはやりません。9名中1名は、介護士資格を持っていますが、ほぼ全員が音大を出たり、音楽の専門学校を出てそれぞれスキルがあります。ピアノができたり、声楽が得意だったりというメンバーで構成されています。

(本橋) 音福士を専任で置いている理由は、兼務させるとどこかが犠牲になるからなんですね。弊社は、営業も専任制ですが毎日8時間外を回っているとしゃべるネタもつくる。ネタは、多い方がいいですから「音福士通信」を作って渡して営業からすると間違いなく助かります。“音福士とは何ぞや”とまだまだ認知率が低いので、これを地道に配って伝えていくという活動に利用させていただいています。

『今後に向けた音楽健康福祉士活動の“ビジョン”』

●みなみ福寿園

(麻生) 今、みなみ福寿園は、4名の音福士がいるんですが結構年齢が高いんですね。どんどん若い方達に音福士も含め色々な資格を取って頂いて人材を作っていきたいなというのが大西さんのお話であった“看取りの方の音楽療法”は、素晴らしいことだと思います。ウチの特養にも“看取りケア”があり、そういうサービスを提供できるといいなと思うので上に話を持っていきたいなと思います。

(小澤) 私は3年前に資格をとってからずっと運動を担当していますが、私だけでは…他の職員もできなければということではじめていたのですが、新しい方のパワーが足りないのか集客率が下がったりしています。新しい方達に声の出し方や体操の中で伝えたい要件をどのように教えてあげたらいいのかなという所が…。資格を持ってなくても一緒にやろうよ、頑張ろうよという事で新しい方を育てていけたらいいなと思っています。

●アンサンブル大宮

(大西) 私どもは“外に出る”という事を大きな目標として掲げさせてもらっています。“外に出る”ことのメリットというか“地域交流”することで知名度も上がりますし、営業に繋がる所も大きいかなという気がしています。近々始める予定ではいるのですが、“地域交流”イベントで音福士の“心音レインボートレーニング”を体験していただいて、それを口コミや噂で広めていただくことで音福士の知名度も上げればいいですし、アンサンブルは音福士が専任でいて週5回もそういったイベントがあるので、それが施設の大きなメリットになればいいかなという風に感じています。我々も音楽を武器にサービスを提供する専門職なのでそういった“いい噂”、“口コミ”などをうまく広げていけたらいいなと思っています。そしてゆくゆくはアンサンブルだけでなくグループホームだったり他の施設にも音福士をなるべく配置して、弊社全体で音福士の存在価値を高めていきたいということ、私はビジョンとして掲げています。